

公的保険・公的年金シミュレーションシステム

「リーフル」提供開始



青木 氏

保険募集人や代理店が「顧客の身近な専門家」として活躍できるように、公的保険に関する知識の提供や育成を行っている一般社団法人社会保障アカデミー協会は、保険募集人向けの公的保険・年金シミュレーションシステム「Leaf（リーフル）」の提供を開始した。同システムは、アンケート形式によってニーズ喚起を行いながら、顧客の公的保険を試算できる構成となっており、保険募集人と顧客が対話を重ねる中で理解を深め、最適な保険提案へと導くことが可能になる。代表理事の青木隆憲氏は、「リーフルは、生命保険の提案が難しいお客さまにも、公的保険という切り口から自然に対話をはじめ、必要性に気付いてもらえる営業支援ツールだ。提案のきっかけづくりに悩んでいる募集人の皆さまにこそ、ぜひ活用してほしい」と述べている。

リーフルの主な特長は、①アンケート形式の顧客アプローチ②データを活用したニーズ喚起③シミュレーション機能④保険提案のサポート⑤顧客情報と活動の一元管理の五つだ。

関心や不安を引き出す。関心事に関連したデータを提示することで、保障に対する意識を高める。公的保険の内容を見える化し、現状をわかりやすく説明できる。公的保障だけでは不足する部分を生命保険で補う提案をサポートし、顧客の不安を

取り除くための最適な商品提案が可能になる。保存データから過去のニーズ喚起やシミュレーション結果の確認が可能になる他、募集人の活動をリアルタイムで把握することで、営業力の最大化につなげることができるといった点が特長だ。

リーフルは「病気・就労不能」「老後・介護」「妊娠・出産」「万が一」の四つのリスクカテゴリーに対応し、情報提供やシミュレーションの機能を備えた保険提案支援ツールとなっている。具体的には「病気・就労不能」では、平均入院日数や医療費に関する情報提供や、傷病手当金、障害年金シミュレーションの他、住宅ローンから確認する就労不能時シミュレーションなどがある。

「老後・介護」には、老齢年金の受給時期による違いや、老後の生活費と年金シミュレーション、介護保険の自己負担割合の把握が可能になる。「妊娠・出産」では育児休業給付金や出産手当金、教育費用のシミュレーションや、児童手当などの子育て支援制度を提示できる。

「万が一」のカテゴリーでは平均寿命、生存確率、死亡に関するデータ、遺族年金などをシミュレーションできる。これらの機能により、顧客の理解を深めながら、納得のある提案を実現できることから、成約率や単価の向上にもつながっている。

さらに、導入後も安心して活用できるよう、定期的な無料オンラインセミナーを通じて、使い方や活用のコツを継続的にサポートしており、誰でもシステムが使えるようなフォロー体制も充実している。法人向けプランでは、各募集人のアクセスログをもとに活動状況を把握でき、営業管理や人材育成にも活用可能となっている。

「公助」の「見える化」で未来のリスク認識

青木氏は「公的保険はあくまで基本的な保障だ。老後の生活や万が一のリスクまでをカバーするには不十分な可能性があるから安心」とは言っていない。だからこそ、将来の備えには『自助努力』が不可欠だと強調する。

その上で「お客さまに自助努力を促すには、まず自身の状況を具体的に『見える化』することが大切だ。身近な専門家である保険募集人が、公的保障や年金などの数値を通じて、未来のリスクを具体的に示すことが必要になる。多くの募集人にリーフルを活用してもらい、その価値を実感してほしい」と力を込めた。